

# 東京外環自動車道 三郷管内橋梁補修設計

## 特記仕様書

令和7年5月

東日本高速道路株式会社

関東支社 三郷管理事務所

## 目 次

	頁
第1章 総則	
1－1 調査等概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1－2 適用する共通仕様書・・・・・・・・	1
1－3 資料の貸与・・・・・・・・	1
1－4 履行期間・・・・・・・・	2
1－5 部分使用・・・・・・・・	2
1－6 発注者または監督員が行う協議・・・・・・・・	3
1－7 計画工程表・・・・・・・・	3
1－8 調査等打合簿の作成及び提出について・・・・・・・・	4
1－9 三者協議会について・・・・・・・・	5
第2章 業務細部に関する事項	
2－1 業務の内容・・・・・・・・	6
2－2 現地踏査・・・・・・・・	6
2－3 技術検討資料作成・・・・・・・・	6
2－4 図面修正・・・・・・・・	8
2－5 設計計算・・・・・・・・	8
2－6 数量計算・・・・・・・・	8
2－7 既存図面電子化・・・・・・・・	9
2－8 成果品・・・・・・・・	9
2－9 補足事項・・・・・・・・	10
添付資料	
様式－1 履行期間通知書	
様式－2 成果品一覧	

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 東京外環自動車道 三郷管内橋梁補修設計

1-1-2 路線名 東京外環自動車道

1-1-3 履行箇所 自) 東京都練馬区大泉町 (0.0KP)  
至) 埼玉県三郷市鷹野 (33.5KP)

### 1-1-4 主な履行内容

項目	数量	単位	備考
現地踏査	1	式	
技術検討資料作成	50	枚	
既存図面電子化	21	枚	
図面修正	26	枚	
設計計算	18	枚	
数量計算	26	枚	
設計打合せ	1	式	

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和6年7月版とする。

### 1-3 資料の貸与

共通仕様書1-15-1「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。

なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取り扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

貸与資料	調査等業務名／ 工事名	貸与予定日	備考
全体一般図 構造一般図	完成図	契約締結後	紙又は電子データ 【対象橋梁】 新倉橋、和光高架橋、和光北IC橋、新河岸川橋、荒川第一橋、荒川第二橋、荒川第三橋、荒川第四橋
上部工排水装置 下部工排水装置 裏面吸音板撤去図 下部工検査路	完成図	契約締結後	紙(TIFFデータ) 【対象橋梁】 新倉橋、和光高架橋、和光北IC橋、新河岸川橋、荒川第一橋、荒川第二橋、荒川第四橋
上部工排水装置 下部工排水装置	幸魂橋耐震補強設計(その2)	契約締結後	電子データ 【対象橋梁】 荒川第一橋、荒川第二橋、荒川第四橋

貸与資料	調査等業務名／ 工事名	貸与予定日	備考
上部工排水装置 下部工排水装置	東京外環自動車 道三郷管内補修 設計	契約締結後	電子データ 【対象橋梁】 荒川第一橋、荒川第二橋、荒川第四橋
常設足場（上部工検 査路）	東京外環自動車 道八潮橋永久足 場他設計業務	契約締結後	電子データ 【対象橋梁】 荒川第一橋、荒川第二橋、荒川第三橋、荒 川第四橋
全体一般図 構造一般図	完成図	契約締結後	紙及び電子データ 【対象橋梁】 川口 JCT E ランプ橋、道合西高架橋、三 郷 IC B ランプ橋
点検報告書	保全点検業務等 の実施に関する 細目協定		紙及び電子データ 【対象橋梁】 川口 JCT E ランプ橋、道合西高架橋、三 郷 IC B ランプ橋

#### 1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書1-13「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（様式－1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から360日間（まで）

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から90日間（まで）

#### 1-5 部分使用

##### 1-5-1 部分使用の範囲

共通仕様書1-36「部分使用」の規定に基づき部分使用を請求する内容及び使用時期は下表の

とおりとする。

内容	使用開始時期	使用理由
技術検討資料作成	完成の都度	別途工事の工法変更資料に使用するため
既存図面電子化		
図面修正		
設計計算		
数量計算		

#### 1-5-2 部分使用検査の実施方法

本業務における部分使用検査は、共通仕様書 1-36-2「部分使用検査」の規定によらず、下記のとおり実施するものとする。

監督員は、本特記仕様書 1-6-1「部分使用の範囲」に基づく部分使用の必要が生じたときは、当該調査等目的物の出来形の検査を行うものとする。この場合において、受注者は当該調査等目的物の成果品一覧表（様式-2）及びCD-R（またはDVD-R）を作成し、監督員に提出するものとする。この場合、受注者の検査への立会いは要しないものとする。

#### 1-6 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

##### （1）河川関係

位置	河川名	管理者名	必要な協議	協議完了 予定時期
東京外環自動車道 KP 6. 0	一級河川 新河岸川	埼玉県朝霞県土整備事務所	河川占用協議	令和7年7月
東京外環自動車道 KP 6. 1～6. 2	一級河川荒川	国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所西浦和出張所		

##### （2）その他施設関係

位置	施設名	管理者名	必要な協議	協議完了 予定時期
東京外環自動車道 KP 5. 7～5. 9	荒川右岸流域下水道新河岸川処理センター	埼玉県荒川右岸下水道事務所	敷地占用協議	令和7年10月
東京外環自動車道 KP 6. 2～6. 5	戸田パブリックゴルフコース	（株）戸田ゴルフクラブ		

#### 1-7 計画工程表

##### 1-7-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者で協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、本特記仕様書 1-7「発注者または監督員が行う協議」に示す協議完了予定時期、共通仕様書 1-9-3「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	対象構造物	項目	備考
付帯工設計	新倉橋	技術検討資料作成 E	
	和光高架橋	技術検討資料作成 D	
	和光北 I C 橋	技術検討資料作成 D	
	新河岸川橋	技術検討資料作成 E	
	荒川第一橋・荒川第二橋	技術検討資料作成 C 技術検討資料作成 D 技術検討資料作成 E	
	荒川第四橋	技術検討資料作成 A 技術検討資料作成 B 技術検討資料作成 C 技術検討資料作成 D 技術検討資料作成 E	
	川口 JCT E ランプ橋 道合西高架橋 三郷 IC B ランプ橋	技術検討資料作成 F	

#### 1-7-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-14-3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員で協議の上決定するものとする。

#### 1-8 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者は、共通仕様書 1-22「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

なお、打合せ前に打ち合わせ項目を整理するものとする。

#### 1－9 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 業務の内容

本業務は、三郷管理事務所にて使用する技術検討資料の作成を行うとともに、別途、工事実施に必要な図面作成および数量算出を行うものである。

なお、技術検討業務資料作成については、共通仕様書 5-5「附帯工設計」5-1 1「工事発注用図面作成」を適用するものとする。

### 2-2 現地踏査

現地踏査とは、東京外環自動車道（大泉JCT～三郷南 I C）における橋梁付属物の改良及び補修の検討を行うため、技術検討資料作成および図面修正等に関係する現地状況を把握するとともに、施工ヤード、工事用資材搬入路、測定の必要性の確認を行うもの。

現地踏査の結果、貸与する既存の資料等と現地状況に相違がある場合は、速やかに監督員に報告するものとする。

また、現地踏査日数には、当初打合せを含まないものとし、4日程度見込むものとする。

### 2-3 技術検討資料作成

#### 2-3-1 定義

技術検討資料作成とは、設計支援ソフトを使用し、監督員から提供された資料、図面及び写真等について取り纏め、工法等の比較検討を行うもの。

なお、作成する資料は下表のとおりとし、詳細については監督員が指示するものとする。

項目	作成内訳	(参考) 詳細図作成区分	備考
技術検討資料作成 A	常設足場の撤去・再設置を行うため図面を作成し、 工事実施に必要な数量算出を行う業務 対象橋梁：荒川第四橋	簡単	
技術検討資料作成 B	耐震補強装置に干渉しない常設足場の形状等 を検討し、工実実施に必要な数量を算出する 業務 対象橋梁：荒川第四橋	普通	
技術検討資料作成 C	・高架下排水の計画を行い、排水系統図（平面図 含む）を作成する業務 ・高架下排水の計画を行い、必要な用排水溝詳細 図を作成する業務 対象橋梁：荒川第一橋、荒川第二橋、荒川第四橋	複雑	



項目	作成内訳	(参考) 詳細図作成区分	備考
技術検討資料作成 D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高架下排水の計画を行い、必要な用排水溝詳細図を作成する業務</li> <li>対象橋梁：荒川第一橋、荒川第二橋、荒川第四橋</li> <li>・下部工検査路の図面を作成する業務</li> <li>対象橋梁：和光高架橋、和光北ⅠC橋</li> </ul>	普通	
技術検討資料作成 E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高架下排水の計画を行い、必要な用排水溝詳細図を作成する業務</li> <li>対象橋梁：荒川第一橋、荒川第二橋、荒川第四橋</li> <li>・既存図面電子化で、電子化した図面の上部工、下部工検査路及び裏面吸音板の撤去・改良図を作成し、撤去・改良数量を算出する業務</li> <li>対象橋梁：新倉橋、和光高架橋、和光北ⅠC橋、新河岸川橋、荒川第一橋、荒川第二橋、荒川第四橋</li> </ul>	簡単	
技術検討資料作成 F	橋梁の変状に対する詳細な補修検討等をする とともに、工事実施に必要な数量算出を行う 業務 対象橋梁：川口JCT Eランプ橋、道合西高架橋、 三郷IC Bランプ橋	複雑	

### 2-3-2 作成方法

受注者は、監督員から提示された作成内容（作成方針）及び提供された資料等を用い、必要な検討を行い、原案を作成するものとする。

監督員は、受注者から提出された検討結果及び原案を確認し、必要に応じて追加の検討や修正を指示することとし、受注者は監督員の指示に基づき資料を修正のうえ、監督員に電子メール等を用いて電子データにより提出するものとする。

なお、補修の施工計画にあたり、仮設設備が必要な場合は、別途監督員と協議し定めるものとする。

### 2-3-3 設計打合せ

技術検討資料作成内容が多岐にわたる場合は、必要に応じて対面による打合せを実施するものとし、下表の編成・時間によるものを標準とする。打合せ場所は、東日本高速道路株式会社関東支社三郷管理事務所で行うものとする。

なお、打合せ回数は5回とするが、監督員の指示により回数が増減した場合、その費用については別途協議するものとし、インターネットを利用したテレビ会議については、上記の打合せ回数に含めないものとする。テレビ会議に要する費用は諸経費に含むものとし、別途、支払いは行わないものとする。

項目	標準編成	標準時間	備考
設計打合せ	担当技術者 1 名	概ね2時間	監督員と技術検討資料作成の内容打合せ

## 2-4 図面修正

### 2-4-1 定義

図面修正とは、共通仕様書5-1 1-1「図面修正」に基づき詳細設計等の図面修正を行うことをいう。

なお、作成する資料は下表のとおりとし、詳細については監督員が指示するものとし、枚数および作業内容に変更がある場合は、別途監督員と協議するものとする。

内訳書の項目	図面の区分	図面の修正率	図面の内容
図面修正A	比較的簡易な図面	10%程度	排水装置
図面修正B	比較的簡易な図面	30%程度	排水装置・検査路
図面修正C	比較的簡易な図面	50%程度	排水装置・検査路

### 2-4-2 作成方法

受注者は、監督員から提示された修正内容（修正方針）及び提供された資料等を用い、修正原案を作成するものとする。

監督員は、受注者から提出された修正原案を確認し、必要に応じて修正を指示することとし、受注者は監督員の指示に基づき資料を修正のうえ、監督員に電子メール等を用いて電子データにより提出するものとする。

### 2-4-3 打合せ

図面修正に関しては、原則として単独の打合せを行わず、本特記仕様書2-3-3「設計打合せ」と同時に行うものとする。

## 2-5 設計計算

### 2-5-1 作成方法

設計計算とは、共通仕様書5-1 1-2「設計計算」に基づき手計算による応力計算を行うものをいう。設計計算の検測数量は、設計計算に関する図面修正を行った図面枚数（枚）とする。

### 2-5-2 打合せ

図面修正に関しては、原則として単独の打合せを行わず、本特記仕様書2-3-3「設計打合せ」と同時に行うものとする。

## 2-6 数量計算

### 2-6-1 作成方法

数量計算とは、共通仕様書5-1 1-3「数量計算」に基づき工事費積算用数量及び工事発注用数量を算出するものをいう。数量計算の検測数量は、数量計算に関する図面修正を行った図面枚数（枚）とする。

## 2-6-2 打合せ

図面修正に関しては、原則として単独の打合せを行わず、本特記仕様書2-3-3「設計打合せ」と同時に行うものとする。

## 2-7 既存図面電子化

既存図面電子化とは、既存の手書き図面（TIFF）の図面を電子化（CADデータ化）することを行う。検測数量は枚とする。

橋梁名	図面内容	図面枚数
新倉橋	裏面吸音板	4
和光高架橋	上部工排水装置、下部工排水装置 下部工検査路	2
和光北ⅠC橋	上部工排水装置、下部工排水装置 下部工検査路	1
新河岸川橋	上部工排水装置、下部工排水装置 下部工検査路	3
荒川第一橋	上部工排水装置、下部工排水装置 下部工検査路	3
荒川第二橋	上部工排水装置、下部工排水装置 下部工検査路	4
荒川第四橋	上部工排水装置、下部工排水装置 下部工検査路	4

## 2-8 成果品

本業務の成果品は、下表のとおりとし、報告書の表紙は黒色とし、金文字製本とし、電子データはCD-R（またはDVD-R）に格納するものとする。

成果品の提出部数については、共通仕様書1-46-5に基づくものとする。

設計種別・項目	成果品項目	出力用紙の 大きさ	備考
作業計画書	作業計画書	A4	製本
検討書	検討書	A4	
詳細図作成	成果品一覧表	A4	
	詳細図、設計計算書・数量計算書	A3	
既存図面電子化	成果品一覧表	A4	
	既存図面電子化（図面）	A3	
図面修正	成果品一覧表	A4	
	図面修正（図面）	A3	
数量計算	数量計算書	A4	
設計計算	設計計算書	A4	

## 2-9 補足事項

本業務の遂行にあたり、現地踏査を実施したのち、以下に示す項目を追加する場合がある。  
これに要する費用は別途協議して定めるものとする。

- ① 荒川第一橋、荒川第二橋、荒川第四橋高架下の用排水系統図作成に必要な測量業務
- ② 詳細図作成に基づき、必要な施工要領図等

以 上

【履行期間通知書(様式－１)】

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社（事務所）  
支社長（所長） 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

（調査等名）

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

１．契約保証取得の日

令和 年 月 日

２－１．発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（１．契約保証取得の日の翌日）

２－２．発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（１．契約保証取得の日の翌日）

３－１．受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

３－２．受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

３－３．契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（１．契約保証取得の日の翌日）

（３－２．受注者が設定した業務の終期）

以 上

【成果品一覧（様式－2）】

令和 年 月 日

調査等名 \_\_\_\_\_

部分使用成果品一覧表

項目	内容	数量	指示日	納品日	備考

発注者使用欄

部分使用検査実施日：令和 年 月 日

部分使用検査実施者：〇〇 〇〇 印

以 上